

COP31・JEFMA セミナーへの桑原 取締役社長 グループ CEO の登壇決定 ～ 廃棄物から価値を生み出す地域循環モデルによるネット・ゼロへの道筋 ～

カナデビア株式会社は、2026 年 11 月 9 日～20 日（予定）にトルコ共和国・アンタルヤで開催される国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）において、一般社団法人日本環境衛生施設工業会（JEFMA）が主催するセミナーへの当社・桑原 道 取締役社長 グループ CEO の登壇（講演）が決定しましたので、お知らせします。

【セミナーの概要】

タ イ ト ル：ネット・ゼロに向けた循環経済への移行加速化のための JEFMA の取組

主 催 者：一般社団法人日本環境衛生施設工業会（JEFMA）

実 施 日 時：（現地時間）2026 年 11 月 16 日（月）14：00～15：15（内、当社約 15 分）

（日本時間）2026 年 11 月 16 日（月）20：00～21：15（同上）

当社登壇者：桑原 道 取締役社長 グループ CEO

講演テーマ：「廃棄物から価値を生み出す地域循環モデルによるネット・ゼロへの道筋」

視聴 URL：[Zoom URL](#)（本セミナーは英語のみで行われます）



【廃棄物を素材やエネルギーなどの価値へと転換する「Waste to X」の概念図】

現在、日本では、循環経済への移行を通じて、脱炭素、経済安全保障、産業競争力強化といった重要課題に対応することを国家戦略とし、その加速化のための具体的な取組を進めています。また、日本政府の「循環型社会形成推進基本計画」では、資源循環の強化が日本の温室効果ガス（GHG）排出量のうち、製造業や廃棄物など約 36%に相当する部門における排出削減につながるとしています。

以上から、JEFMA では、廃棄物処理分野において廃棄物発電やマテリアルリサイクル等による従来の 3 R+Renewable の取組に加え、革新的な技術を開発・実用化して、廃棄物をメタンや化学品等に転換し、エネルギーや原材料として再利用するチャンネルを資源循環ループに組み込むことで、循環経済の高度化と脱炭素の強化を図る様々な取組を推進しています。本セッションでは、このようなネット・ゼロに向けた JEFMA の活動の最新動向が紹介されます。

当社は、地域から発生する廃棄物を、素材・燃料・エネルギーなどの地域に必要な価値へと転換する「Waste to X」の実装を通じて、GHG 排出削減と循環経済の実現に寄与する革新的かつ地域事情に沿った適切なシステム・技術の導入と地域循環モデルについて講演します。

当社の COP 参画は、2024 年の COP29 から 3 年連続 3 回目で、今回は「気候変動レジリエンスを強化するエネルギー・水のパッケージ・ソリューション」をテーマに、環境省主催のジャパン・パビリオンに出展します。

当社は、気候変動対策を議論する最大の国際会議の場を通じ、これまで培ってきた技術や実績を広く発信するとともに、今後も世界規模の環境課題の解決に貢献してまいります。

ご参考：[2026 年 8 月 25 日当社ニュースリリース：FY2026-51.pdf](#)

「国連気候変動枠組条約第 31 回締約国会議（COP31）（トルコ・アンタルヤ開催）、環境省主催「ジャパン・パビリオン」へ出展します」

（終）